

2

原田さんと野口さんは、校外学習で動物園に行き、ゾウの鼻について下のような【疑問】をもちました。そこで二人は、それぞれの疑問を解決するために、次の【科学読み物】を読みました。

【科学読み物】の下の【原田さんのふせん】、【野口さんのふせん】は、分かったことや新たな疑問を書いたものです。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

※【科学読み物】の中の印についての説明

―部…分かったこと

～部…新たな疑問に係る部分

【科学読み物】

鼻にとくちようがある動物というと、みなさんはどのような動物を思いかべますか。きっとゾウを思いかべる人が多いことでしょう。ゾウといえば、長い鼻がとくちようの一つです。では、ゾウの鼻はどうして長いのでしょうか。

大昔のゾウの体は、今のゾウの体よりもずっと小さかったといわれています。鼻も今より短かったのですが、長い年月の間に体がだんだんと大型化し、口が地面からはなれていったようです。それとともに、鼻と上くちびるがいっしょに長くのびていったことで、頭を下げなくても草や水を口に運ぶことができるようになったと考えられています。

ゾウは、長い鼻を使っていろいろなことができます。

【疑問】

【原田さんの疑問】

A

【野口さんの疑問】

ゾウの長い鼻は、おいを感じ取ることができるのか。



※「ふせん」…分かったことや疑問などを書いて、本や文章に目印として付ける紙。

【原田さんのふせん】

①鼻は、今よりも短かったが、体がだんだんと大型化し、口が地面からはなれていったようだ。

②鼻と上くちびるがいっしょに長くのびていったことで、頭を下げなくても草や水を口に運ぶことができたようになったようだ。

③長い鼻を使うことで、できること。(食べ物をつかむ、水をすいあげて飲む、水浴び、あいさつ)

例えば、食べ物をつかんで口に運んだり、水をすいあげて飲んだりすることができません。また、すいあげた水をシャワーのようにして浴びたり、鼻をからませ合ってあいさつをしたりすることもできません。このように、ゾウの長い鼻は、生活する上でさまざまなことに役立つているのです。

ゾウの鼻は、ほかの動物たちと同じように、におい

鼻を高く上げて遠くのにおいをかぐゾウの写真

▲高く鼻を上げて遠くのにおいをかぐゾウ

を感じ取ることもできません。長いからといって、においを感じ取ることができないわけではないのです。むしろ、においを

感じ取ることについては、ひじょうにすぐれており、二、三キロメートル先のにおいをかぎ分けるともいわれています。

すぐれた鼻を使うことで、水場や食べ物をさがすこともできます。また、においのちがいで仲間を見つけてもできます。

ゾウのほかにも、においを感じ取ることにすぐれた動物はたくさんいます。

（内容が続く）

④鼻の短い動物の鼻の役目は？

・カバやブタは、鼻を使って何ができるのか。

【野口さんのふせん】

①長いからといって、においを感じ取ることはできないわけではない。

②二、三キロメートル先のにおいをかぎ分けるともいわれている。

③すぐれた鼻を使うことで、

④においを感じ取ることにすぐれた動物はどのような動物か？
・イヌは、どれくらい先のにおいを感じ取るのか。

【原田さんの疑問】の

A

の中には、どのような内容が入ると考えられますか。ふさわしい内容を、

【原田さんのふせん】

①から③までの内容をもとにして、十五字以上、四十字以内で書きましょう。

二 原田さんと野口さんは、書いたふせんを整理しながら【疑問】に対するまとめを書いていきます。
【野口さんのまとめ】の B の中には、どのような内容が入ると考えられますか。ふさわしい内容を、【原田さんのまとめ】の書き方を参考にし、次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- 【野口さんのふせん】③と④の両方の内容を使って書くこと。
- 【野口さんのふせん】③の内容については、【科学読み物】の 部の二文を一文にして書くこと。また、④の内容については、「例えば」という言葉を使って書くこと。
- 書き出しの言葉に続けて、百字以上、百二十字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

【原田さんの疑問】

A



原田さん

「分かったこと」

①鼻は、今よりも短かったが、体がだんだんと大型化し、口が地面からはなれていったようだ。

②鼻と上くちびるがいっしょに長くのびていったことで、頭を下げなくても草や水を口に運ぶことができるようになったようだ。

【野口さんの疑問】

ゾウの長い鼻は、においを感じ取ることができるのか。



野口さん

「分かったこと」

①長いからといって、においを感じ取るこ
とができないわけではない。

②二、三キロメートル先のおいをかぎ分
けるともいわれている。

③長い鼻を使うことで、できること。
(食べ物をつかむ、水をすいあげて飲む、水浴び、あいさつ)

「新たな疑問」

④鼻の短い動物の鼻の役目は？

・カバやブタは、鼻を使って何ができるのか。

【原田さんのまとめ】

ぼくが、ぎ問に思った「**A**」
ということについて、次のことが分かった。

大昔のゾウの鼻は、今のゾウの鼻よりも短かったが、体が大型化し、口が地面からはなれていったようだ。そして、鼻と上くちびるがいっしょに長くのびていったことで、頭を下げなくても草や水を口に運ぶことができるようになったようである。長い鼻を使うことで、食べ物をつかんだり、水をすいあげて飲んだりすることができる。また、水浴びや、あいさつをすることもできる。調べていくうちに新たなぎ問も出た。鼻の短い動物の鼻の役目は何かということだ。例えば、カバやブタは、鼻を使って何ができるのか調べたい。

③すぐれた鼻を使うことで、

「新たな疑問」

④においを感じ取ることにすぐれた動物はどのような動物か？

・イヌは、どれくらい先においを感じ取るのか。

【野口さんのまとめ】

わたしが、ぎ問に思った「ゾウの長い鼻は、においを感じ取ることができるのか。」ということについて、次のことが分かった。

ゾウの鼻は、長いからといって、においを感じ取ることができないわけではない。二、三キロメートル先のおいをかぎ分けるともいわれている。すぐれた鼻を使うことで、

B

『動物の体』の目次

目次

頭	6	毛	114
目	26	手	131
耳	44	足	158
鼻	68	しっぽ	175
口	91		

『動物図鑑』のさくいん

さくいん

ア

～ (中略) ～

カ

カバ	69
カモノハシ	97
カンガルー	159, 183
キリン	12, 163

～ (中略) ～

ハ

パンダ	128
ビーバー	105
ヒツジ	123
ヒョウ	170
フクロウ	35
ブタ	71
フラミンゴ	168

～ (内容が続く) ～

※ 「さくいん」…本の中に出てくる主な言葉を順序よく並べ、書かれているページを記したものの。